

地球タイムズ

発行 2010/05/24

発行・編集責任者
UNCSW54th ACC 代表団
NSKK Asian Girls
Deborah Machiko Ikemoto
Lillian Michiko Kikawada

第54回国連女性の地位委員会に

ACC代表団93名が参加!

3月1～12日、アメリカニューヨーク国連本部ビルを会場に第54回国連女性の地位委員会(UNCSW)が開催され、世界141カ国からの政府代表団と464のNGO代表団ら約8000人が参加しました。

会場周辺では会期中、約200のサイドイベントが開かれ、多くの人でにぎわいました。聖公会中央協議会(ACC)からも23管区からの代表25人の他、カナダやアメリカからの代表団(ヤングアダルト代表

21人を含む)合わせて93名からなる代表団が参加。日本聖公会からは、池本真知子さん(大阪教区)と木川田(京都教区)が管区代表として派遣され、参加してきました。

ACC代表団イベントでは、アドボカシー(関連記事 p.2 参照)研修や、国連会議のWEB中継視聴、レポート発表、ワークショップ、サイドイベントへの参加、基金の説明、地域別の連携と交流に向けた話し合いなどが行われました。(CSWの今年のテーマを巡る話し合いや、ACCとUNCSWとの関わりについては p.2、3をご覧ください)



NSKKからは私たちが
参加しました!



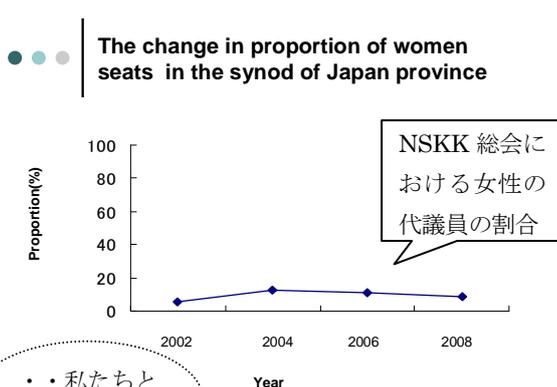
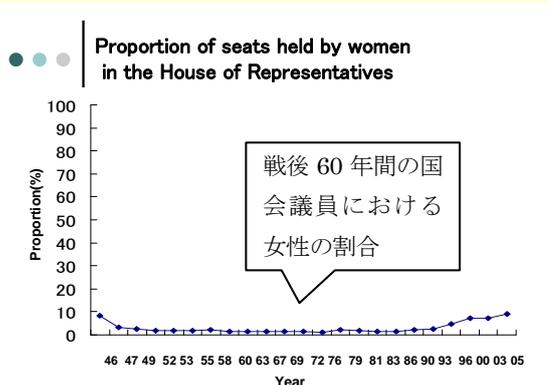
今年、私たち日本チームが選んだレポート発表のテーマは、『意思決定のプロセスにおける女性の参加』

英題は *Church as global community- Journey of Christian witnesses-*

“地球いのちの共同体としての教会—キリストを生きる旅—”としました。

□ 発表内容

- ・日本の国の概要
- ・NSKKの歴史、現状の紹介
- ・教会における女性たちの現状と課題
- ・特に意思決定のプロセスにおける女性の参加の割合が低いことについて(日本全体と教会)
- ・そんな現状を変えるための私たちからの提案
- ・この課題について信仰的見地から
- ・私たちのヴィジョン



私たちから提案したこと

1. クオータ制(割り当て制)の導入の検討
2. 女性のエンパワメントのためのコミュニケーション・スキルや討論の方法を学ぶ機会をつくること
3. 男性の“ワークライフ&バランス”に向けたメンタルヘルス、コミュニケーションスキル

発表の最後に池本さんがドライフルーツのなつめやしをみんなに配りました。勇気を出して意思決定機関に入っていき元気づけです。

池本さんの洗礼名はデボラ。デボラとなつめやしって実は関係ある

・・・って知ってました?

・・・私たちと一緒・・・

←と、その時どこからかため息とささやきが・・・。

国連女性の地位委員会 (Commission on the Status of Women) と聖公会の関わり

聖公会はニューヨークとジュネーブに国連へ働きかける機関をもっています。世界中に広がる聖公会の教会は、世界一員として世界の正義と平和のために働く責任があります。

私たちは、みことばをもって世界の正義と平和のために遣わされています。世界中の女性は、未だに暴力や貧困の中にいます。聖公会は、こうした働きのために世界の女性の問題に取り組んできました。

毎年、ニューヨークで開かれる国連で開かれる国連女性地位委員会 (Commission on the Status of Women : CSW) に関わっています。国連では、女性の地位向上のために 1995 年、北京宣言を出し、貧困、教育、健康、暴力、紛争下にある問題、賃金格差など経済問題、自己決定とエンパワーメント、組織における地位向上、人権、メディア、環境、少女の問題の 12 の課題が出されました。また、2000 年にジェンダー (社会的性別) と女性の平等化を進めるためにミレニアム・ディベロップメント・ゴールズ (Millennium Development Goals : MDGs) を採択しました。MDGs は 2015 年までに 8 つの目標を達成することを目標にしています。今回の CSW54 は MDGs の進捗状況をまとめて、後 5 年間に向けて各国がどのような努力をすべきか検討するのが主な目的でした。

今回は 23 管区から代表が派遣されました。各管区に課されたカントリー・レポートや各代表との話しから見てきた世界の女性の現状です。発展途上国では、貧困に起因して教育・健康の問題が、先進国では、女性の意志決定やエンパワーメントなどの課題が挙げられました。共通するものとして“暴力”の問題があります。社会的な問題が男性に影響をもたらす、女性に暴力をふるうという構図があります。また、発展途上国から先進国への人身売買の問題も深刻です。日本は、人身売買の大きな受け入れ国であることを心に留めておかなければなりません。

今、世界の女性たちは…。



今回の私たちの成果

NGO の役割アドボカシーを再認識

NGO はその立場、専門性を生かして、課題について分析したものを政策に生かすよう提言や陳情を行ったり、議論の行方を監視したり、GO との協働や連携を図る働きをしており、これらは “アドボカシー” (弱者の代弁をする、唱道するといった意味) と言われます。日本の私たちには無理・・・と思ってましたが、今回参加してみて「いやいやきっと私たちにもできることがある。」と思い直しました。少しずつ経験を積み重ねていきたいと思えます。

アジアの女性たち

との交流



今回、アジアやパシフィックの女性たちと多く話をする機会を持つことができました。似たような文化的背景を持ち、地理的にも近い私たちは、もっとお互い知り合って、何かのことで一緒に知恵をしぼったり、経験を分かち合ったり、喜びあえたりできる関係になれたらいいなあと思いました。帰国後、4月に早速、日韓女性デスク会談が実現しました。

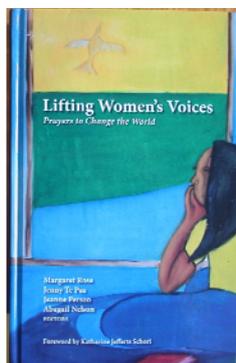
CSW54 での話し合いの結果と CSW55 に向けて・・・

CSW54 では、主に女性・少女のエイズ、武力紛争下で投獄されている女性の解放、パレスチナ女性の状況と援助、女性の経済的エンパワーメント、女性のエンパワーメントを通して妊婦の死亡と病気をなくすこと、国連の機関が協力して女性のエンパワーメントに対する支援を行うこと、女性器の切除（割礼）を止めることが話し合われ、各国の女性たちの問題、ジェンダーの問題についての対策について協議されました。CSW55 では、女兒の教育など、女兒に関わる問題を中心に検討される予定です。



ミレニアム・ディベロップメント・ゴールズの祈り (Lifting Women's Voices¹ より)

聖なる方、イエス・キリストの中であって
あなたのすべての子どもたちを
あなたの霊の愛を通して1つにしてくださる方、
福音はミレニアム・ディベロップメント・
ゴールズを通して私たちに呼びかけています。
私たちがこれらの目標に携わるとき、
あなたの霊で満たしてください。
これらの目標が展開され、あなたの支配の
内に乗り越えていく中であなたが
大切にしている世界を癒すために
あなたと共に働くことができるようにしてください。
最も弱められている隣人を大切にするようにあなたを愛するように
呼びかけておられる方、
私たちの主イエス・キリストを通して アーメン



1 Rose, M 他編 (2009). Lifting Women's Voices. Morehouse Publishing U.S.
アメリカ聖公会が中心となって聖公会の世界の女性たちの祈りを集めた本。

■ 会期中に聖公会女性や国連聖公会事務所が企画したサイドイベント、催しものなど

3/3 Keeping our promises to girls: A review by Girls of CSW51

(企画：聖公会国連事務所 (AUNO), Anglican Women's Empowerment (AWE) 他)

3/5 Violence and Indigenous Women (暴力と原住民女性)
(企画：ACC)

3/5 Back to the Future: Fueled by Faith
(北京から15年を振り返って)
(企画：AWE)

3/10 Report on human trafficking (企画：AUNO、ユニセフ、ECPAT-USA)



地域と関わる教会

ニューヨーク滞在中、いくつかの教会に行くことができました。そのうちの二つを紹介します。

□ St.Mark's Church in the Bowery

平日は、劇場やコンサート、詩作や芸術活動などの会場として、また子育て中のお母さんのサークルなどにも使われているということでした。主日礼拝は円になって行われ、礼拝のための音楽担当の方もいるということでした。とてもアットホームな教会でした。



□ 大聖堂 Saint John the Divine



いくつもの小礼拝堂を持つお城のように巨大で立派な石造りの主教座聖堂。地下には、食事に困っている人たちのための食堂があつて大勢の人が食べに来ていました。そこで働いている方も教会ワーカーだということでした。

御 礼

今回のニューヨーク行きにあたっては、日聖婦の被献日献金、京都教区、大阪教区からご支援をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

♪ お気に入りの一曲

“We are Marching in the light of God”
朝の礼拝でみんなで歌った「シヤ ハンベ ク カニエンケンコス」(Siya hamba'e ku kha hyeni kwen cos) という曲は、歌いながら行進したくなる調子のいい曲で、一度聞いたらなかなか耳を離れません。ぜひみんなで歌ってみてください！
(楽譜は改訂版 こどもさんびか 133)

歩こう みんなともに

歩こう みんなともに 神の光の中

(シヤ ハンベ ク カニエンケンコス)

歩こう みんなともに 神の光の中

(シヤ ハンベ ク カニエンケンコス)

歩こう 歩こう神の光の中



2006年の第1回日本聖公会女性会議のゲストに来てくださった IAWN 理事のアリス・メドコフ司祭(カナダ)と再会！

We
enjoy!

The 節約 ニューヨーク生活

去年は1人分の費用についてはカンパを募りましたがそれも結構大変。というわけで今年は2人して節約生活に挑戦することに。そんな私たちのニューヨーク生活は・・・。

■ 「ペンシルバニア・ホテル」

ACC 指定のホテルでなく、私たちが探した安いホテルは国連ビルから地下鉄で2駅のそれはにぎやかなペン駅の目の前にある誰でも知ってる老舗のペンシルバニアホテル。なかなか古い感じの天井の高い角部屋に18泊したのは私たちぐらいかも。「なぜミチコマチコたちはそんなところに泊まるのか？」と訝しげられながらも私たちはせっせと聖公会センターに通いました。



ホテルの窓から見えた風景



■地下鉄通勤・・・国連と

ACC 代表団のメイン会場の聖公会センターまで歩いて通える距離のホテルを選んだはずが見通し甘く、3日目にして50分 walking に見切りをつけて地下鉄通勤に切り替えました。



←■電気ポットとボンカレー

部屋にポットがあるのは当然、と思っていたらこれが甘かった。ポットがないとお茶も飲めない。ということで向かいにあるKマートで2500円ぐらいの湯沸しポットを購入。お茶用以外にも、その中にレトルトカレーやご飯をどぼんとつけて温めて、これまた持参の食器に入れてカレーごはんや味噌汁定食を楽しみました。

“地球タイムズ”を読んでくださってありがとうございました。私たちはどこへでも報告に行きますので、ぜひお声をおかけください。
(管区女性デスクまで)